

外国人に日本語を教えるボランティア団体

Tachikawa International Friendship Association

## 教室部長挨拶

木曜教室 部長 富田 康予

明けましておめでとうございます。2025年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



私は、TIFAに入会して30年になります。30年も続けられた理由は、“人が好き”、そして“TIFAが好き”だったからです。30年前、立川市の広報を通して応募しました。息子たちは幼稚園児で、出来る活動は限られておりましたし、資格も経験ありませんでしたが、温かく迎えていただき、活動がはじまりました。

初めての担当は、共通言語の無いブラジル人で、テキストの絵やジェスチャーでの学習で、徐々にコミュニケーションが取れるようになってきました。最初の嬉しい体験でした。この30年間で、初級から上級と多くの受講生との出会いがありました。私は、どのレベルの方を担当しても楽しいのですが、一番楽しいのは初級の受講生と学習することです。

2024年9月以降、受講生が増え、ほぼ毎回、新規の方が訪ねてこられます。教室部の皆様の臨機応変な対応、ボランティア講師の皆様の温かい協力で、乗り切ることができました。教室部に入ったばかりの私にとっては本当に感謝でした。ただ、こうした対応のままで、大丈夫でしょうか。ボランティア講師の皆様に安心して、学習に集中していただけるよう、より多くの受講生に学んでいただけるように、そして、誰が教室部の担当になっても、大丈夫なようにできればと思います。例えば、ボランティア講師には、得意な、教えていて楽しいレベルがあると思います。そうした個性を大切にしていくなど、皆様と検討し、進化させていきたいです。これからも、受講者の方は増えることが見込まれます。笑顔の一言でお迎えし、TIFAを安心できる、帰れる場所にさせていただけるように頑張りたいと思います。

土曜教室 部長 所 陽子

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

TIFAに入会して2年と日が浅い私ですが、2024年度より土曜教室部長を務めさせて頂いております。お力添えの程よろしくお願い致します。

さて土曜教室ですが、2024年度は新規でボランティア3名、受講生23名が入会されました。各学期初日は5~6名の受講希望の方がお越しになり、多くの外国人が日本語教室での学び、支援を必要としていることを強く実感しました。そして、入会希望でお越し頂いた方はできるだけ受け入れたいと対応しております。

私の現職場（英会話スクール）は、同僚の多くが日本に興味を持ち来日した外国人です。仕事では日本語を使わない為、彼らは独学やスクールに通い日本語を学んでいます。ノートにびっしり漢字を書き毎週見せてくれる人、覚えた言葉をすぐに使い練習する人など懸命に学ぶ姿を見てきました。その様子を見て、日本人である私が出来ることは、彼らと日本語で話す時間を作ることだと気づきました。これが、私が日本語を教えることに関心をもつきっかけとなりました。

受講生の学習内容希望は「日常会話」が多く、「文法」「作文や手紙を書く」「生活に必要な手続きのやり方」と続きます。目的は様々ですが、受講者の希望に少しでも多く応えられるように、ボランティア会員の皆様と共に教室を盛り上げていきたいと思っております。2024年度の教室行事は、第1回ボランティア研修会、七夕祭り、第2回ボランティア研修会（外部講師）、スピーチ会を行いました。受講生とボランティアが「楽しい」と思える日本語教室が目標です。引き続きご協力をお願い致します。



## イヤーエンドパーティー 2024年

2024年12月21日(土)、柴崎学習館地下1階ホールにおいて、恒例のイヤーエンドパーティーが開催されました。



まず、小林会長からイヤーエンドパーティーに対する想い、そして1年間の感謝と来年への期待が述べられ、次のようにプログラムが進んでいきました。

1. スライドショー：TIFAの1年間の行事などが紹介されました。
2. 受講生とボランティアのトークショー：土曜教室から4組が出演しました。



3. 衣装ショー：中国、インド、スリランカの衣装を木曜教室が紹介しました。
4. 和太鼓：立川女子高生の演奏と受講生・ボランティアの太鼓体験がありました。



ブレイクタイムもあり、音楽とスクリーン映像の流れる中での歓談は、素敵な交流のひとつでした。

参加者数は、ボランティア、受講生、その他にOBや家族、和太鼓を披露してくれた皆さんを含め、75名でした。

## 土曜教室 防災訓練

11月2日(土)土曜教室では、柴崎学習館地下1階第2視聴覚室において、立川消防署錦町出張所3名の指導の下、ボランティア21名、生徒17名が参加し、防災訓練が行われました。



訓練は、地下1階給湯室から火災発生との想定で、各教室の避難誘導係が避難を呼びかけ、所定の避難場所(今回は第2視聴覚室)まで誘導する所から始まりました。

避難場所到着後、前半は訓練用消火器

での消火訓練、後半は応急救護訓練(AED使用)という内容で、特に後半のAED使用訓練では、皆が真剣に取り組む姿が印象的でした。

最後は指導員より非常食を頂き、終始充実した防災訓練を行うことが出来ました。



## 西砂教室 高尾山レクリエーション

12月8日、高尾山でのレクリエーションに行きました。実施が12月になり、山歩きという印象もあってか学習者、ボランティア講師あわせて計5人の小パーティーとなりましたが、既定の大切な行事なので実施しました。行き帰りとも1号路のコースを歩きました。年配者には少しきつめとなりましたが、おかげでケーブルカー利用の登山者、観光客の混雑に巻き込まれずに済みました。頂上では



各自持参のお弁当と講師持参の暖かいコーヒーを楽しみ、生徒さんは例えばお国のネパールの山のこと、日本での生活のこと、講師は授業での悩みなどを道々話したり聞いたりしました。好天に恵まれて紅葉はちょうどきれいでした。



## 木曜教室 ボランティアミーティング

12月19日(木)教室終了後に、木曜教室のボランティアミーティングが開催されました。



まず、富田教室部長からの報告事項の後、宇佐美広報部長からTIFAホームページ上に新設された掲示板の説明や活動状況報告の紹介がありました。

最後に赤嶺副会長か

らボランティア名簿の作成・配布についての現状説明、およびメンバー間の意見交換が行われ、2024年の活動を締め括りました。



## リレーコラム 交差点

### 木曜教室 花田 直一 わたしの履歴書

いつも読んでる日経新聞の裏面にある私の履歴書風  
に書きたいと思います。出身は大阪堺市で大学は授業  
料の安いところに行きたかったので奈良教育大学に進  
学しました。当時は月に 8000 円ぐらいでした。高  
校時代はめちゃくちゃ勉強したので、大学は全く勉強



せず写真のよう  
なプール監視員  
やロッテリアな  
どバイト三昧で  
結局 6 年かけて  
卒業しました。

で、ほとんどの  
生徒は教員に

なるのですが、こんな悪い人間が教師になれば、いつ  
か新聞にのりそうだったので企業にいくことにしまし  
た。が、つぶしのきかない教育学部だったので、しか  
たなく経理の専門学校にいき、わけのわからないまま  
日商簿記 3 級 2 級を取得しました。そこからは、約  
30 年ぐらい企業の財務や海外事業部の管理職等で働  
きました。上から横から下から、今でいうぼこぼこに  
やられました。しかし最初から教師になって少し世間  
知らずの人生送るよりかは、よかったかなと思います  
し更生もできました。そのころに偶然テレビでオース  
トラリアで和太鼓教室をしている元日本語教師の番組  
に衝撃を受け、すぐに太鼓教室に通いました。と同時  
に日本語教師養成学校ヒューマンアカデミーにも通い  
ました。偶然、支店がゴールドコーストにありしかも  
偶然できたばかりの太鼓チームがあり、結局 20 回ぐ  
らいは弾丸でいき一緒に練習したりライブ演奏したり  
しました。元楽天や阪神の星野監督の前で演奏したり  
談笑したりもできました。

ラッキーだったのは企業の給料ですが 50 代は凄く、  
夏にボーナス 200 万円、冬にも同じ 200 万でした。  
その資金をもとに東京で和太鼓と日本語教師の二本立  
てで行こうときめ、まったくの無職でこちらにきまし  
た。しかし、どういうわけか日本語学校では 8 年ほど  
主任をし、和太鼓教室は今では、世界中から年間  
300 人ほど習いにきてくれています。人生なんとかな  
るものです。

### 土曜教室 斉藤 堅治 受講生との一体感

私は TIFA のボランティアを始めて今年で 3 年目  
になります。始めたきっかけは、特にありませんが、最  
近クラスで行なっていることや受講生との思い出、今  
後の私の夢について述べて行きたいと思います。

まず一つ目。最近クラスで行なっている事。それは  
漢字練習です。これまで新聞のコラム読解やポッドキ  
ャストなどでのリスニング、日常の出来事の簡単なス  
ピーチ発表などを実施して来ましたが、あまり反応は  
薄かった様子。ところが、現在受け持ちの受講生 2 人

は漢字に興味があるこ  
とが最近判明しました。  
実際漢字を書いてもら  
い、書き順や意味、関  
連の熟語について説明  
しています。やっと受  
講生のやる気スイッチ  
を見つけた気がします。

続いて 2 つ目。受講  
生との思い出。去年の秋のこと。当時受け持っていた  
3 人の受講生と一緒に高尾山へ紅葉狩りに出掛けまし  
た。最初は乗り気ではなかったようでしたが、私のわ  
がままだから付き合っよ！と、半ば強引なノリで出  
掛けることにしました。実際行ってみると、普通の椅子  
でのクラスとは違う一体感が生まれ、楽しんでくれた  
様子でした。

そして最後に 3 つ目。私の夢について。それは将来、  
受講生の生まれ育った場所を訪問する事です。どんな  
空気を吸って育って来たのか興味があるからです。じ  
ゃー今から行くよー！って突然訪問するのも良いかも。  
えーっ！先生って言われるのを承知で。(笑)



### 西砂教室 真鍋 祐子 オンライン受講生さんとの楽しい思い出

私は昨年 6 月から西砂教室で対面とオンラインで楽  
しく活動しております。今日は、オンライン受講生  
(S さん) との事をお話したいと思います。

S さんは中国の方で、お会いした時から日常会話は  
よく出来るので、今はニュース記事の読解なども勉強  
しています。日本文化にも興味があるようでしたの  
で、邦楽のコンサートにお誘いしました。

実は、私は数  
年前からお琴を  
習っています。  
子供時代に少し  
習っただけでしたが、時間が出来て、また習いたくな  
り、お琴の先生のお宅に通い練習しています。毎年、  
その先生が出演なさるサマーコンサートがあり、S さん  
をお誘いしました。S さんから和楽器の演奏は全く  
聴いたことがない、ぜひ聴きたい！と連絡がありまし  
た。邦楽というと、古典芸能で堅苦しいイメージがあ  
りますが、コンサートでは、お琴、尺八、三味線、等  
の和楽器とギターとのコラボもあり、洋楽、ポップス  
の曲があり、とにかく、楽しめました。彼女は和服姿  
の琴の演奏にすごく感動して、後から、着物や楽器の  
ことをあれこれ質問してきました。

また、中国の楽器・二胡(にこ)の演奏は、大変音  
色が美しく、私も彼女も音色に聞き惚れました。

日頃オンラインで日本語の学習だけですが、たまに  
直接会って楽しく会話し、生の日本文化に触れること  
も受講生さんには新鮮な体験なんだなと思います。私  
にとっても楽しい一日でした。



## 世界ふれあい祭 2024

11月9日と10日、たちかわ楽市2024が開催され、「NPO法人たちかわ多文化共生センター」の出展、世界ふれあい祭に参加しました。

テント1ではパネルによるイベントを通じた活動を紹介、テント2では、わたあめ、アートバルーン、マジックショー、お茶の提供を行いました。お天気にも恵まれ、多くの来場者にTIFAの活動状況を紹介できました。



初めてのイベントもあり、わたあめは2日間とも子どもたちに大人気で、長い列ができていました。マジックショーも日曜日に2回開演し大好評でした。



見ていたボランティアの中には、楽しそうなので、自分も是非やってみたいとの声がありました。

来場者はのべ920名。詳細は下記のとおりです。  
テント1: 9日 100名、10日 280名 計 380名  
テント2: 9日 220名、10日 320名 計 540名

## 土曜教室 ボランティア研修会

2024年10月19日(土)柴崎学習館第一視聴覚室において、今年度第2回土曜教室研修会が開催されました。「八王子『にほんごの会』東浅川寺子屋」の関邦義さんを講師にお迎えし、木曜教室の2名を加えて20名が参加しました。

今回のテーマは、「学習者・支援者のための日本語ミニ講座」で、日本語を難しくしているものは何か？を探っていく講座でした。

まず、学校文法と日本語学習者向けの文法との違いが示されました。次に、世界で5番目に難しい言語とされている日本語の難しさの原因について、文法、語彙、文字などの基礎項目に従って、クイズや練習問題を取り交ぜながら解説されました。



質問タイムでは、言葉の使い方や学習者への教え方などの疑問点や意見があげられ、日本人にとっても難解なテーマであることを実感しました。難しいと思われる日本語を「話すだけならやさしい言語」と述べる外国人作家がいるという話にはビックリでした。

## 西砂教室 ボランティア研修会

西砂教室 岩城 一哲  
2024年11月30日(土)西砂学習館にて、ボランティア研修会を9名にて行いました。

今年の4月から「登録日本語教員制度」が開始いたしましたが、日本語教育能力試験について触れられなかったのが少し残念でした。私個人として来年、免除ルートを利用して同試験を受験する予定でございます。この制度は日本語学校で働くにしても大学の別科で働くにしても、取得していることが前提条件となります。加えて、日本語教師ボランティアとして働く上



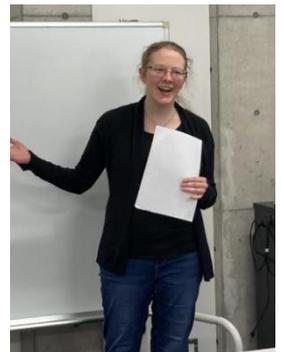
で同試験の合格および日本語教員の登録は将来的に必要な事項になっていくのではないかと考えており、同試験の受験者が急増していくのでは

ないかと想像しています。どちらにしても、将来的に日本語教育に関わるにあたって、この資格は取得せざるを得なくなると思います。

## 土曜教室 スピーチ会

2024年11月16日(土)柴崎学習館第一教室と作業室において、今年度第1回のスピーチ会が開催されました。初心者から上級レベルまで21名の受講生が参加し、母国のことや日本での生活体験・文化体験などについて発表を行いました。

コンテストとは異なり、自由な発表の場であったので、緊張の中にも和気あいあいとした雰囲気が進められ、TIFAの多様な交流の場としても大変良い機会を持つことができました。終



わりには、受講生の努力をねぎらい、ささやかな参加賞を贈りました。今回はスピーチ原稿の作成や講師による添削などの事前作業も組み入れられて、書くこと及び発表の訓練など多面的な指導が行われました。学習目標とその効果を踏まえた有意義なイベントでした。



立川国際友好協会

西砂教室

